

東部営農経済センター一便り 5月号

JA静岡市東部営農経済センター TEL: 245-7527

センター長	女性部	茶	苺・水稻・蔬菜	果樹	購買
瀧口 信也	大越	深井	深井恵・片井	榮	酒井・瀧田・森川・萩原・齋藤

茶

【二番茶摘採準備】

一番茶後の遅れ芽を除く程度に浅く摘採面を整える。時期としては一番茶摘採後7~10日程度である。(但し、みる芽摘採を実施した場合は、遅れ芽の発生が著しいので遅れ芽が出揃った時点を見極めて実施する)

【更新】 1番茶摘採後なるべく早く行う。

- ・浅刈り：摘採面から3~5cmの深さで剪枝する。更新効果は、一年程度。
- ・深刈り：摘採面から10~20cmの深さで剪枝する。更新効果は、二年程度。
- ・中切り：地上30~50cmの高さで、幹の太い所で行う。剪枝する枝の太さは、7mm程度である。更新効果は、4~5年程度。

【二番茶不摘採園の管理】

一番茶摘採後、秋整枝まで放任すると翌年の一番茶収量に大きく影響するので上記の更新作業又は、二番茶目が完全に開いた状態で二番茶芽の基部から新梢をすべて刈落として下さい。

【防除】 被害園では、病虫害多発生が予想されますので茶園状況を確認しましょう！

時期	病虫害名	薬剤名	倍数	日数	使用方法
1番茶摘採後	カンザワハダニ チャノナガサビダニ ウンカ、スリップス	アグリメック(劇)	1,000倍	7日	単
7月~9月	マダラ カサハラムシ	コテツフロアブル(劇)	2,000倍	14日	単
		ハチハチ乳剤(劇)	1,000倍	7日	単
		エクシレルSE	2,000倍	7日	単
		テッパン液剤	1,000倍	3日	単
2番茶萌芽期	炭そ病、もち病	オンリーワンフロアブル	2,000倍	7日	混
	ウンカ、スリップス	ウララDF	1,500倍		
5月中旬 ~6月初旬	クワシロ カイガラムシ	アプロードエースフロアブル	1,000倍	21日	単
		スプラサイド乳剤(劇)	1,500倍	14日	単
		コルト顆粒水和剤	2,000倍	7日	単
2番茶整枝後	ハマキムシ類	サムコルフロアブル10	2,000倍	3日	単

※ チャノトグコナジラミは、成虫の発生を見たら必ず防除実施を！
成虫発生が少なくなった5月下旬頃から防除適期になりますので各自圃場を確認し防除に努めて下さい。
裾の葉が黒くなっている圃場については、必ず早期から防除を実施する様に努めて下さい。

【2茶肥】(時期) 1茶摘採後~10日 (施肥量) 化成肥料3~4袋/10a

☆☆ (劇) の記載のある農薬は購入時に印鑑が必要となります ☆☆☆

東部営農経済センターだより 令和2年5月20日発行

柑橘

令和2年度産の温州みかんの着花状況は、JA静岡市管内全体で、着花が5段階中3.1、春芽の発生が3.3となっています。また、東部管内の着花状況は、着花が5段階中3.3、春芽の発生が3.2となっています。園地によりバラつきがあるため着果量にあった管理をお願いします。

【防除】

時期	病虫害名	農薬名	使用倍率
6月中旬	ミカンハダニ	マシン油乳剤(97%)	150倍
	アザミウマ・カイガラムシ	アドマイヤー顆粒水和剤(劇)	10,000倍
	黒点病	エムダイファー水和剤	600倍

時期	病虫害名	農薬名	使用倍率
6月上旬	かいよう病	ICポルドー412	50倍
6月中旬	ミカンハダニ	マシン油乳剤(97%)	150倍
	アザミウマ	アドマイヤー顆粒水和剤(劇)	10,000倍
	黒点病	エムダイファー水和剤	600倍

- ◆ スルガエレガントでホウ素欠乏症が出ている園では『ヨーヒB5 800倍』を混用散布して下さい
- ◆ マシン油の散布後3日間は雨にあたらぬように、天気予報に注意し散布する。

【施肥】 夏肥の施用・・・6月10日までに施用

品種	肥料名
青島	みかん化成1号：6袋/10a
早生	みかん化成1号：4袋/10a
スルガエレガント	新FTE S604：4袋/10a または スルガペレット：8袋/10a
ポンカン	みかん化成1号：4袋/10a または みかん50ペレット：6袋/10a
不知火・はるみ	みかん80ペレット：6袋/10a

柑橘類にとって一番肥料の吸収が良い時期であり、新梢を充実させ根も発生し伸長に多量の養分を必要とする時期でもあるので、この時期の施用は重要となります。また、施用が遅れると酸高、着色遅れの原因となりますので施用時期は遅れないように実施しましょう。

落葉果樹

作物名	散布時期	対象病虫害	使用農薬	倍率
梨	6月上旬	黒星病・輪紋病・うどんこ病	ナリアWDG	2,000倍
	6月中旬	ハダニ類	コロマイト水和剤	2,000倍
	6月下旬	ツクイムシ類・クワコナカイガラムシ	バリアード顆粒水和剤(劇)	4,000倍
柿	6月上旬	うどんこ病・落葉病・灰色かび病	オンリーワンフロアブル	2,000倍
		アザミウマ・カメムシ類	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍
	6月中旬	落葉病・炭疽病	ベンレート水和剤	2,000倍
キウイ	6月上旬	カキハタムシガ・チャノキアザミウマ	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍
		カキハタムシガ・チャノキアザミウマ	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍
	6月下旬	落葉病・うどんこ病	ベルコート水和剤	1,500倍
キウイ	6月上旬	果実軟腐病	ダコニール1000	1,000倍
		キイロマイコガ・キウイヒメヨコバエ	アグロスリン乳剤(劇)	2,000倍
	6月中旬	果実軟腐病	ベルコート水和剤	1,000倍
6月下旬	果実軟腐病	ベンレート水和剤	2,000倍	

いちご



親株管理（炭そ病対策）

- 資材はイチバン（500～1,000倍、瞬時浸漬）で消毒したものをを用いる。
- 雨よけ下の管理を基本とし、風通しの良い環境をつくる。（ハウスのツマ、サイドを外す等）
- ランナーが密植とならないように誘引する。
※親株の古葉やわき芽の整理をし、風通しを良くする。またランナーの側枝は除去する。
- 怪しい株は見つけ次第、近くの株とともに除去する。
- 苗の管理は晴天時に行う。管理後は傷口を乾かしてから薬剤の予防散布をする。

たんそ病ローテーション例

時期	薬剤	倍率	回数	混用可能薬剤
5月4週目	キノンドーフロアブル	500倍	3回	エコピタ液剤
5月5週目	タフパール	2,000倍	6回	ハチハチフロアブル [®]
6月1週目	ジマンドイセン水和剤	600倍	6回	
〃	エコピタ液剤	100倍	なし	ニッソラン水和剤
6月2週目	サンヨール	500倍	6回	ファルコンフロアブル
6月3週目	ベルコートフロアブル	1,000倍	5回	
〃	アカリタッチ液剤	2,000倍	なし	

水稻

1、元肥 田植え前1週間以内に施用する

品種	コース		化成コース		省力コース（一発肥）	
	コース					
早生（ひとめぼれ・キヌヒカリ）	マップ 202	2袋	ナイスアップシリカ	2.5袋		
中生（きぬむすめ・ヒノヒカリ）		2袋	ナイスワンパワー	2.5袋		
晩生（あいちのかおりSBL・にこまる・養美人）		2袋	にこ・モチ一発244	2袋		
コシヒカリ		1.5袋	エココシ18号	2袋		

2、初期防除（箱粒剤）

コース	薬剤名 50g/箱	いもち病	紋枯病	もみ枯細菌病	白葉枯病	ウンカ類	イネツトムシ	イネミスゾウムシ	イネドロオイムシ	コブノメイガ	ツマグロヨコバイ	ニカメイチュウ
いもち重点	Dr.オリゼパティート粒剤 （緑化期～移植当日）	●				ヒビウカ		●	●		●	●
紋枯重点 （ツマグロヨコバイ）	フルターボ箱粒剤 （移植3日前～移植当日）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
省力化	ツインターボ箱粒剤08 （播種時～移植当日）	●		●	●	●		●	●		●	

※ 移植数日前に均一散布し、灌水を行って薬剤成分を十分に吸わせる。

※ コブノメイガ、ウンカは初期防除が肝心です。効果のある箱粒剤を使用してください。

3、ジャンボタニシ対策（スクミリンゴガイ）

スクミノン 1～4kg/10a（移植後 収穫60日前まで2回）
※ 誘因効果があるので、ジャンボタニシの多い場所を中心に施用する

今年は暖冬の影響でスクミリンゴガイの多発が予想されます。
より一層の対策と防除をお願いします。



4、田植機の調整

- 植付け株数 … 60～70株/坪
- 植付け本数 … 3～5本/株（早く分けつし、太い茎をつくる）
- 植付け深さ … 2～3cm（浅植えにし、早期の活着や茎数の確保を促す）

5、水管理

- 田植後～活着 … 水深4～6cm程度の深水とし、活着をうながす
☆ジャンボタニシの発生が多い場合は浅水管理がよい
- 活着後 … 水深2～4cm程度の浅水（ガス抜きは1～2日間落水する）



6、除草剤

除草剤を上手に効かせるポイント！

- 代かきはていねいに行ない、田面を均一にする
- 処理後は田に入らない！（一週間）
- 処理後は田面が露出しないように水管理。（ガス抜きは1～2日行う）
1kg・フロアブル剤は水深3～5cm/ジャンボ・豆つぶ剤は水深5～7cm
- 薬剤の処理時から、必ず7日間は水尻を閉じ、かけ流しをしない！

(1) 一発処理剤（10aあたり）

薬剤名	量	効果期間
フォーマット1キロ粒剤51	1kg	移植直後～30日（ノビエ3.0葉まで）
カチボシ1キロ粒剤51		移植直後～30日（ノビエ2.5葉まで）
キマリテ1キロ粒剤		移植直後～30日（ノビエ3葉まで）
エンペラー1キロ粒剤		田植直後～12日頃（ノビエ3.0葉まで）
ミスターホームランLジャンボ	500g	移植後3～10日（ノビエ2.0葉まで）
ガンガン豆つぶ250	250g	移植後3日～30日（ノビエ2.5葉まで）

(2) 体系処理（水持の悪い田んぼでは体系処理を行ってください）

時期	薬剤名	量	効果期間
初期剤	サキドリEW	500ml	代かき後、田植えまで7日間あける
中期剤	1発処理体系（上記）の	1kg	田植後15～20日頃
（田植後）	1kg粒剤を使用する。		

土壌分析のお知らせ

例年、6月に行っていたJA静岡市での土壌診断は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を見送らせていただいています。
経済連にて、少人数で行う診断は常時行っていますので、希望される方は営農センターまでお問合せください。分析料が1点500円程度かかります。（通常よりお時間がかかる可能性がありますのでご了承ください）

